

茄子小田橋の早期復旧を要望

相馬市議会

は6月17日、市役所で行われ、菊地清次相馬市議会議長ら2人が立谷市長に要望書を手渡しました。

令和元年東日本台風で橋りようが流出し、現在も通行止めになっていることから早期復旧を要望するもの。令和2年6月議会の請願採択を受け、要望書の提出が行われました。

市は、県などと協議しながら令和2年度内に着手し、令和5年度末の完成を目指す方針を示しました。



茄子小田橋（山上）の早期復旧および強靱（きょうじん）化に関する要望書の提出

震災の教訓を生かす

磯部中避難訓練

ズムを学びました。

磯部中学校の避難訓練は6月26日、同中学校で行われ、生徒ら29人が参加しました。訓練は、地震が発生した場合に、安全で迅速に避難する方法を学ぶために実施。

生徒らは、地震発生を伝える校内放送の後直ちに身を守る行動をとり、その後一斉に体育館に避難しました。

訓練終了後、高橋誠防災教育専門員らによる防災教室が行われ、災害や防災のメカニ



社会を明るくする運動

メッセージ伝達式



令和2年度「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式は7月1日、市役所で行われ、関係者ら14人が参加しました。

佐藤宏相馬地区保護司会相馬支部長が内閣総理大臣のメッセージ、武田一奉市少年センター補導員連絡会会長が県知事のメッセージをそれぞれ読み上げ、市長に手渡ししました。

この運動は、全国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、明るい社会を築こうとする全国的な運動で、7月が強調月間となっています。

早期4車線化などを要望

高速道路建設促進相馬協議会

高速道路建設促進相馬協議会総会は6月25日、市役所で開催、各団体の代表者ら20人が出席しました。

同協議会は、常磐自動車道の4車線化や相馬福島道路の建設および活用促進を図ることを目的とし、当日は令和2年度の事業計画などが協議されました。

また、常磐自動車道の早期4車線化や相馬福島道路の開通などを求める要望書の提出が議決され、要望書は後日、

臨機応変な対応を

山上小避難訓練

児童ら42人が参加しました。

訓練は、災害から安全で迅速に避難する方法を学ぶために実施され、児童らは、地震発生を伝える校内放送の後一斉に体育館に避難し、その後保護者への引き渡し訓練が行われました。

訓練実施中、福島県沖を震源とする地震（震度3）が発生しましたが、児童らは訓練で学んだ頭を隠す行動を素早く行うことができました。



山上小学校の避難訓練は7月3日、同小学校で行われ、



国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所長などに提出されました。

報徳仕法を学ぶ

二宮尊徳文庫の寄贈



二宮尊徳文庫の寄贈は7月3日、中村第一小学校で行われ、同小学校元校長の遠藤功一さんが訪れました。

児童生徒が報徳仕法を学ぶ機会を得て、今後の自らの生き方に生かして欲しいという思いから、市内の全小・中学校に書籍547冊を寄贈したものの、午來勝頭同小学校校長は「相馬市の子どもとして報徳仕法を学び、心に刻んでほしい」とあいさつし、寺島虎太郎同小学校図書委員会委員長は「報徳仕法とともに学校の伝統を継承し、今後の学校生活に生かしたい」と感謝の言葉を述べました。

ブランド化で魅力をPR 「相馬ブランド」認定証交付式

「相馬ブランド」認定制度の認定証交付式は6月24日、千客万来館で行われ、船橋屋製菓株式会社の菓子2点が認定を受けました。

同制度は、市内の優れた素材や技術を生かし、土産などに適した魅力ある加工食品を審査の上、「相馬ブランド」として認定するもので、認定商品は、市や市観光協会、商工会議所などが協力し、各種イベントでPRするなど市内外問わず広めていくよう働きかけます。



●認定商品

- ▽相馬せんべい
- ▽柚子の砂糖漬け

今できることを

スポーツ笑顔の教室



スポーツ笑顔の教室は7月8日、山上小学校の4～6年生の児童17人を対象に開催されました。

同教室は、各スポーツの分野で活躍した方を夢先生と位置づけ、夢先生の体験談をもとに夢を持つ素晴らしさを伝えるもので、スポーツこころのプロジェクトの主催。

今回の夢先生は、フットサル選手としてFリーグで活躍した川股要祐先生。

授業は感染症対策としてオンライン形式で行われ、児童らは、川股先生の講義やグループでの話し合いを通して夢を持つ大切さを学びました。

アイアイ広場開講式 相馬愛育園

親子教室（アイアイ広場）の開講式は7月2日と9日、相馬愛育園で開催されました。

アイアイ広場は、未就園児と保護者を対象にした教室で、手遊びや運動、制作遊びなどを通して、親子や友達との交流を深めることを目的に開催。参加した子どもたちは、のりやペンを使っておもちゃを制作するなど、楽しい時間を過ごしました。

同広場は、3密（密集、密接、密閉）を回避しながら、2つ



のグループに分かれて、年間14回開催する予定です。

令和元年台風に伴う復興支援に尽力 即応予備自衛官 第3級賞詞表彰

福島交通株式会社相馬営業所で行われ、水嶋翔即応予備三等陸曹が出席しました。

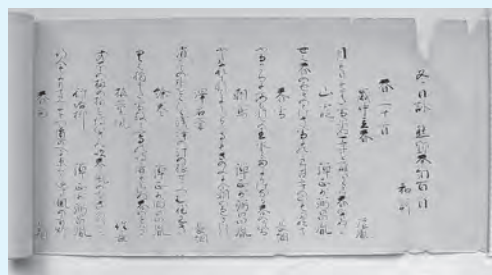
第3級賞詞は、災害派遣や治安などの自衛隊の行動に参加し、その功績によって授与されるもの。

水嶋即応予備三等陸曹は、同災害派遣において、災害招集命令に応じ、26日間にわたる被災地の復旧作業にあたるなど、自衛隊の信頼獲得に貢献したことより同賞詞を受賞しました。



令和元年台風19号に伴う災害派遣における第3級賞詞表彰伝達は7月3日、勤務先の

神社奉納和歌・相馬恕胤遺品 新たな文化財指定



市教育委員会は7月7日、八幡神社が所有する熊野神社奉納和歌と相馬恕胤（もろたね）遺品の2件を市有形文化財に指定しました。

熊野神社奉納和歌は、当時の相馬中村藩主と藩士などが和歌を神社に奉納する習慣があったことを示す資料で、同神社が所有する「熊野社法楽三首詠」「春日同詠熊野法楽和歌」「熊野御法楽」「奉納十種和歌」「奉詠三首和歌玄盛上」「冬日詠熊野奉納百種和歌」の6点のうち、100首の和歌を

巻紙にしたためた「冬日詠熊野奉納百種和歌」が指定されました。残りの5点は未読のため、読後改めて指定の可否を検討します。

相馬恕胤遺品は、相馬中村藩8代藩主相馬恕胤に関わる木箱入りの奉納遺品で、相馬恕胤の御名乗「恕胤」の文字記載の折り紙や御召初御装束（おめしぞめごしようぞく）など全9点であり、特に留袖は当時の色彩が鮮やかに残されている貴重な資料です。

市文化財の指定は平成22年9月以来約10年ぶりです。



海のレジャーの事故を防ぐ 海上安全指導員



海上安全指導員指定認定証等交付式は7月11日、旅館い

海上安全指導員

さみや（尾浜）で行われ、関係者13人が出席しました。

指導員は、海上のレジャーボートの安全運航指導を通じて事故防止などに努めることを目的に、第二管区海上保安部長が指定するもの。

相馬地区で指導員の指定は震災後初で、式では、7月16日～7月31日の期間に行われる海の事故ゼロキャンペーンを前に、地元の自営業者など9人が指定を受けました。

海開きに備えて クリーンアップ作戦

環境美化作業の「クリーンアップ作戦」は7月12日、原釜尾浜海水浴場で行われ、石油資源開発株式会社や相双五城信用組合の有志ら約250人が参加しました。

市の担当者からごみの分別方法の説明を受けたあと、約1時間の清掃活動を行い、参加者は海藻や流木、空き缶、ペットボトルなど、軽トラ3台分のごみを拾い集めました。

原釜尾浜海水浴場の開設は



7月18日～8月23日です。

第二体育館で初開催 バドミントン大会



2020ABC代替大会福島県小学生学年別バドミントン選手権大会は7月12日、スポーツアリーナそうま第一、第二体育館で開かれ、県内の小学生が熱戦を繰り広げました。

県小学生バドミントン連盟が主催し、18チーム157人が参加。

大会はトーナメント形式で行われ、子どもたちはコートの中で自分の力を出し切って、最後まで諦めずにシャトルを打ち合い、さわやかな汗を流していました。

スポーツアリーナそうま第二体育館での大会開催は、今回が初めてです。

シラス今季初水揚げ

相馬双葉漁協

相馬双葉漁業協同組合によるシラスの今季初水揚げは、7月2日松川浦漁港で行われました。

当日は22隻の漁船が出港し、試験操業で水揚げされたシラスは約11トン。

シラスは、鮮度の良いうちに加工され放射性物質検査を経て、県外に流通されます。

漁は、魚の大きさなどを見ながら週に2〜3回程度、11月ころまで行われる予定です。



子どもたちの熱中症対策に氷の寄贈 相馬双葉漁協

熱中症対策用の氷の贈呈式は7月13日、市役所で行われ、立谷寛治相馬双葉漁業協同組合代表理事組合長ら2人が訪れました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休校の影響で授業を行うこととなった7月21日〜8月7日の期間、子どもたちの熱中症を防ぐことを目的に、毎日市内全小中学校に氷を提供します。

提供された氷でペットボトルの飲料水を冷やし、児童生徒の水分補給を促します。



消毒用アルコールの寄贈 成田食品グループ



成田食品グループによる消毒用アルコールの贈呈式は7月9日、市役所で行われ、佐藤大二郎ナリタファーム株式会社代表取締役社長と佐藤ヨシエ成田食品株式会社取締役副社長が訪れました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で消毒用のアルコールが不足していることを受け、同社が確保した消毒用アルコールを市内各小・中学校に18リットルずつ寄贈するもの。

寄贈いただいた消毒用アルコールは市内小・中学校に配布しました。

カップスープを寄贈 ポッカサッポロフード&ビバレッジ



0食の寄贈を受けました。今回の寄贈は、サッポロホールディングス株式会社と包括連携協定を締結している東京農業大学からの紹介によるもの。

同社は本市のほか、全国の子ども食堂へもカップスープの提供を行っています。

寄贈いただいたカップスープは、防災備蓄品として、避難所で避難者へ提供するほか、地域の防災訓練などでも活用する予定です。

音楽による生きる力をはぐくむ事業を支援 オリエンタルモーター

オリエンタルモーター株式会社の木村明宏相馬営業所所長ら2人は7月6日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金の目録を手渡しました。

寄付は、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）として、市と一般社団法人エル・システマジャパンが協働で事業を展開している、「音楽による生きる力をはぐくむ事業」に賛同したことから行われるものです。

